

ライチ便り No. 60

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2024年12月号～

<http://lychee-club.jp/>

遅めの紅葉も見ごろを過ぎ、気が付けばもう師走。寒気に勢いづいたのか、インフルエンザや新型コロナがまた増加中のようなようですので、皆様ご自愛の上、この年末を乗り切りましょう。

遅れに遅れたライチ便り60号をやっと作りました。ご一読いただき、慌ただしい気分を少し和らげていただければ幸いです。

飲茶会でお茶の話を聞きました



毎秋恒例の飲茶会を、11月12日にあいれふ調理実習室で行いました。

病気で長期入院されていたという講師の王和雄先生ですが、いつもと変わらぬ名調子で、今回は「青椒牛肉絲（ピーマンと牛肉の煎り煮）」「福建炒麵（博多皿うどん）」「肉粉湯（豚肉と生姜のスープ）」という3品の作り方を教えてくださいました。

福岡市女性翼の会の会員をはじめとする17人が参加しました。

また今回は、山本和恵さんが、素晴らしいお手製の資料を基に、中国茶についてのお話を聞かせてくださいました。山本さんは長年広州で生活され、その間に正式な「中国茶芸師」や「中国茶文化講師」の資格を取得された方です。こんな得難い人材が身近にいらっしゃるのですから、来年から「中国茶教室」を開いては、と目下計画中です。



五年ぶりに広州を訪問しました

コロナ期の旅行制限が解除され、今年は何としても広州へ行こうと考えた私(千葉)は友人と二人で10月下旬の7日間、ついに広州行きを決行しました。初めは香港経由でと考えていましたが、タイミングよく春秋航空が福岡—広州直行便を運航することになり、便利で安価な効率のいい旅となりました。

出発から3日間は奥田さんと一緒に心強い限りでしたが、残り4日間は二人だけになり少々不安でした。でも懐かしい旧友たちの歓迎の渦の中で、そんな不安は吹っ飛びました。

一番心配だったのは「お金の支払い」でした。広州はキャッシュレス社会になっていて皆さんスマホでほとんどすべての支払いをしています。噂のとおり、物貰いのおじさんがスマホとマイクを駆使しているのには驚きました。尤もこの稼業の人は一人しか見かけませんでした。キャッシュレスの支払い対策として、外国人はアリペイをダウンロードしておくことが推奨されています。私たちも慣れないながら何とか使えるように準備しました。けれども友人たちの行き届いたお手配のお陰で、ほとんどアリペイで支払う場面はありませんでした。



広州側でライチ倶楽部の活動を支えてくださっている魯仲さんと会い、広州の民間交流の場になっている国際交流合作センターを訪問して責任者の郭慧青主任にご挨拶し、外事弁公室の柳柳副主任から昼食のご招待を受けて、公的な行事は終了。あとは自由に旧友たちと交流しました。

広州の街を歩いて、綺麗になったなああと強く感じました。かつては歩道の穴やごみが気になっていた広州の街がとても歩きやすく清潔で、緑色のナンバープレートの電気自動車がたくさん行き交っていることはうれしい変化の発見でした。

最も大きな変化は「粵港澳大湾区(グレーターベイエリア)」建設の進展ぶりでした。南沙区がその中心地となっているようで、ライチ狩りで何度もお世話になった鄭慧栄さんや呂偉さんがそこで活躍しており、できたばかりのビルの上から大湾区の現況と将来計画を説明してくださいました。



土産話は山ほどあって、とてもこの紙面では語り切れません。ビザも免除になったことですし、皆さんまたご一緒に行ってみませんか？来年はライチが豊作の年だそうです。

-
- * 当倶楽部のHPと各種 SNS を開設しています。是非アクセスしてみてください。
 - * 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000 円 団体：一口 10000 円
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。